

平成26年10月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成26年10月15日（水）午後3時00分
- 2 閉 会 平成26年10月15日（水）午後4時00分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 審議事項
 - (1) 報告事項
- 5 その他
 - (1) 次回定例教育委員会の開催日時について
- 6 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見	俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島	慶 子
	3番	教 育 委 員	稻 見	秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口	徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本	明 紀
事務局		教 育 部 長	山 本	公 大
		教 育 総 務 課 長	石 田	寛
		教育環境整備課長	貞 松	保 夫
		学 校 教 育 課 長	野 口	博 史
		文化スポーツ振興課長	松 村	正 和
		教育センター所長	大 東	豊
		図 書 館 長	告 野	幹 也
		教育総務課主査	五百蔵	一 也
傍聴者		0人		

◇ 会議内容

1 開 会

委員長が、平成26年10月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、水島委員長職務代行者と松本教育長を指名した。

3 会議録の承認

委員長が平成26年8月定例会（20日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。また、平成26年9月定例会（17日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。さらに、平成26年9月臨時会（26日開催）の会議録について委員に諮ったところ、里見委員長から一部表現について修正を求める発言があった。委員長がこのことについて委員に諮り、全員一致で承認された。

4 審議事項

(1) 報告事項

ア 学校教育課報告事項について

○野口学校教育課長が次のように報告した。

第7回定例校園長会を10月6日に開催した。議題は、生徒指導のまとめ、県費負担教職員の人事評価の実施等についてである。主要行事について、市内小学校、幼稚園の運動会を9月20日に実施した。委員の方にもご臨席をいただいている。中学校の新人体育大会を9月27日に実施した。また、計画指導訪問を10月1日に三木中学校で、10月8日に緑が丘幼稚園、緑が丘小学校で実施した。10月7日には、三木市防災公園で6フレンドリーウォークを実施した。市内の小学6年生670人が参加した。台風の影響が心配されたが、天候も良

く、けが人もなく無事実施することができた。

今後の予定として、次の日程で計画指導訪問を実施する。10月16日に平田幼稚園、平田小学校、10月17日に緑が丘中学校、10月27日に三樹幼稚園、三樹小学校の予定である。10月17日には、緑が丘中学校の道徳教育研究発表会を実施する。また、小学校では、10月17日から11月の初旬にかけて、1泊2日で修学旅行を実施する。第8回の定例校園長会を11月4日に、第4回同和教育伝承講座を11月6日に、中学校連合音楽会を11月7日に、三木市教育事業学習交流会を11月8日に実施する。また、市内の中学2年生を対象に、トライやる・ウィークを実施する。日程は、11月10日から14日までの5日間となっている。小・特別支援学校連合音楽会を11月21日に行う予定である。

三木市幼保一体化計画案に係る意見交換会については、現段階で31か所で終了している。

以前、委員会の中でご質問をいただいた従軍慰安婦に係る三木市の教育現場における状況の調査結果を報告する。まず、中学校の歴史教科書について、平成16年度から19年度にかけては帝国書院のものを、平成20年度から24年度にかけては日本文教出版のものを使用していた。いずれも従軍慰安婦に係る記述は無かった。次に、教科書以外の教材等を用いて従軍慰安婦に係る内容を授業で取り扱ったことがあるかについて、社会科部会を通じて調べたが、そういう事実は無かった。

それから、学校の良い取組、子どもたちの良い取組をもっと積極的に発信し、新聞等にも積極的に取り上げてもらうようご指摘をいただいていた。今年度の状況について調べたところ、この半年間で59回新聞に掲載していただいたので、併せて報告する。

(里見委員長) 従軍慰安婦の問題がなぜこれほどテレビや新聞に取り上げられているのか、子どもたちに問われたときに先生はどのように答えればいいのか。どのように対応したら良いと考えるか。

(山本教育部長) もし、そういう質問があった場合、客観的な事実に基づいて、中学生の年齢にも応じて教えることになると思う。ただ、中学校の教科書について、従軍慰安婦に係る記述は無いため、検定を受けた高校の教科書を用いて、年齢に応じた教育をするの

も一つの方法だと考える。

(松本教育長) 同じく、児童、生徒の発達段階に応じた教育が必要だと考える。ただ、現時点では、一般紙で公に証明できるような客観的な根拠はない、ということは言う必要があるだろう。

(里見委員長) 県の教育委員会がどのように考えているかも、確認しておく必要があるのではないか。

(稲見委員) 新聞によっても完全に論調が違っている。どっちが正しいですかと聞かれたときに、どのように答えるのか。その点も踏まえて、県の教育委員会の見解等を整理しておく必要がある。

(里見委員長) 子どもから質問があったときに、答えられないと、先生が信頼を失うのではないか。中身の説明ができないのであれば、その理由をしっかりと説明する必要があるだろう。

(松本教育長) 社会の授業の中での質問と、授業以外の一般的な質問とで、対応も変わってくる。社会の授業の中で出た質問であれば、色々な論調があるということを伝えるべきだと思う。

(稲見委員) 日本の名誉が傷付けられた点は看過できない。欧米が行った奴隷貿易等とまったく同質のことを、日本も行ったと世界に向けて発信してしまったわけである。論調の違いはあるにせよ、教育の場でも名誉を回復していくことは必要だと思う。

(里見委員長) 子どもから質問があった場合の対応等、引き続き検討してほしい。

(井口委員) 幼保一体化計画案に係る意見交換会について、参加者が一桁の会場もあるが、これは絶対数の問題か。

(野口学校教育課長) 絶対数の問題もあるが、現状から変化が少ない地域については、やはり参加者が少ない傾向にある。一方で、地域の幼稚園が閉園となる予定の地域については、関心が高く、参

加者が多い傾向にある。

(里見委員長) 何回も来られる方もおられるのか。

(松本教育長) 何回か来られて、非常に熱心に発言されている方は5名ほどおられる。基本的に、発言の機会を対象の地域の方を優先することにはなっている。

(里見委員長) 本来は、その地域の方に発言していただくのが望ましい。また、できるだけ多くの方が発言できるよう、同じ方が何度も発言されるのは控えていただくよう、指導等は行っているのか。

(野口学校教育課長) 司会から、地域の方優先ということと、発言が一人の方に偏らないように、ということはアナウンスしている。

イ 教育センター報告事項について

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業について報告する。

教職員を対象とした専門研修講座「授業を成立させるための基礎・基本」を10月14日に実施した。参加は20名であった。

教育相談は、電話178件、面接42件の合計220件であった。青少年悩みの相談は、70件であった。

不登校対策適応教室事業は、現在4名の通級があり、9月18日には校外活動として、レガッタ体験に行った。

今後の予定として、10月28日に、専門研修講座「自分を好きになる力・自分を活かそうとする力」、11月17日に「学校防災と危機管理」を開講する。学校防災の講義をお願いする大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター長教授の藤田大輔先生は、大阪教育大学附属池田小で校長として対応された経験もお持ちの方で、今回は、緑が丘中学校の転落事故も含んだ学校の危機管理に関するお話をしていただく予定である。

不登校・適応教室関係では、神戸市北区淡河町でデイキャンプを実施する予定である。

次に青少年センターの事業について報告する。子ども安全・安心の日の立番を2回、白ポストの回収を延べ8日間実施した。

10月3日には、第6回の役員会を開催した。

人の目の垣根隊意見交換会を9月25日平田小、同29日中吉川小、10月3日三樹小でそれぞれ実施している。

10月11、12日は、大宮神社祭礼特別補導を行った。

今後の予定として、10月18、19日に、岩壺神社祭礼特別補導を実施する。11月6日には、加西市で北播磨補導委員連絡協議会が行われる。

また、人の目の垣根隊意見交換会を各小学校で順次開催する。人の目の垣根隊意見交換会は、これまで5校で開催してきた。小学校により多少差はあるが、全体的に発言も多。おおむね、これからも頑張っていこうという声をいただいている。主な意見として、「朝のあいさつができない子どもが多い」、「朝の登校時間はPTAの方もおり、見守りができるが、下校時間はばらばらで、人も少ないため見守りが少ない。長田の事件もあり、特に下校時の見守りを増やせないか」、という意見があった。また、「子どもたちがあいさつをしてくれると元気をもらえる。それが生きがいになっている」、という声も多くいただいている。

ウ 文化スポーツ振興課報告事項について

○松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

9月4日から28日にかけて、堀光美術館で、上田桑鳩展を開催した。入館者は1,791人であった。

国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会に出場する選手の激励会を、9月25日に行った。

第5回歴史ウォークを9月28日に開催した。吉川町公民館を出発し、毘沙門堂、黒滝、若宮神社等を経て吉川町公民館に戻ってくるコースである。参加は47名であった。

10月4日から12日にかけて、墨華香るまちフェスティバル第30回みなぎの書道展を開催した。応募総数は7,922点で、内100点を特別賞として、10月12日に表彰を行った。また、市制施行60周年及びみなぎの書道展30回を記念して、平成4年度から平成25年度の上位賞173点をあわせて展示した。

スナッグゴルフ講習会を10月11日に三木ホースランドパーク緑の広場で開催した。小学生以下の子どもとその保護者等18ペア36名の方が参加された。

今後の予定として、みっきいスナッグゴルフ大会を10月18日に実施する。定員は60名としていたが、参加申込は31名となっている。

東はりま大茶会を10月19日に開催する。会場は三木山森林公園森の文化館で、本席が三木市、副席が西脇市となっている。

第37回市民合唱祭を10月26日に開催する。会場は三木市文化会館大ホールで、出演は15団体となっている。今回は、ゲストにマリンバ奏者の山中佑起子さんと岡野享子さんをお迎えする予定である。

第53回三木市菊花展覧会を三木市文化会館大ホール前で開催する。審査は兵庫県菊花連合会顧問の藤本正幸先生にいただき、11月1日午後2時から、金物まつり特設ステージで表彰を行う。また、三木金物まつり協賛事業として、3つの企画を予定している。一つ目は、丸太切り競争で、11月2日、金物まつり特設ステージで実施する。二つ目は、「三木まつり1dayチケットで行こう平井山秀吉本陣跡ウォーク」として、神鉄恵比須駅から竹中半兵衛の墓、秀吉本陣跡を巡る歴史ウォークを実施する。日程は、11月1日、2日である。神戸電鉄粟生線活性化協議会が主催で、文化スポーツ振興課がこれを協力支援することとなっている。三点目は、文化財展として、三木合戦に関わるものを、ジオラマ等を中心に展示する。場所は、みっきいホール展示コーナーである。

少年スポーツ大会開会式を11月16日に、三木山総合公園陸上競技場で実施する。陸上競技については、記録会を兼ねて6月14日にすでに開催している。

堀光美術館の企画展として、「三木の屋台資料展」を開催する。会期は10月5日から19日までで、三木の屋台関係資料、写真・映像などを展示して、屋台資料展の歩みをたどるものとなっている。また、特別企画展として、「三沢かずこ展 青ありて」を、10月26日から11月16日の会期で開催する。

(稲見委員) 三木城址が国の史跡になったことに関連して、旧三木高校の校舎が今後どうなるのかと市民の方からよく聞かれる。昔の風情があって、非常に貴重な建物だと思うが、そういう話は事務局にもあがってきているか。

(松村文化スポーツ振興課長) 数年前にはそういった話もあったが、

最近は聞いていない。ただ、耐震性に問題がある建物ということ
は把握している。

(里見委員長) 台風や大雨については大丈夫なのか。

(松村文化スポーツ振興課) 過去に台風の影響で瓦が飛んだというこ
とはあった。また、雨漏りも時々ある。

(井口委員) 国体に関して、三木東高校出身の方が旗手を務められた
ということで、大変名誉なことである。

(松村文化スポーツ振興課長) ウェイトリフティングの山本俊樹選手
が務められ、85kg級で優勝されている。

エ 図書館報告事項について

○告野図書館長が次のように報告した。

新設図書館の進捗状況については、工程どおり進んでいる。A、B
工区については、生コン打設を行い、鉄骨の組上を行っている。工事
と同時に、書架配置の最終調整を進めている。

世界にひとつの「はりこねこ」を作ろうというイベントを9月21
日に吉川図書館多目的室で開催した。参加は子ども13名、大人8名
であった。動物愛護の大切さと同時に、飼い主としての義務について
も学んでいただいた。

三木の秋まつり写真展を10月1日から27日まで、市立図書館2
階展示コーナーで行っている。また、上田桑鳩遺墨展を10月11日
から13日まで、吉川図書館多目的室で開催した。台風の影響により
やや少なかったが、47名の方が展示を見に来られた。

今後の予定として、ブックスタート事業、おはなし会、ストーリー
テリング、だっこで絵本を例月どおり実施する。

11月5日には、おとなのためのおはなし会を市立図書館3階視聴
覚室で開催する。

11月16日には、吉川図書館多目的室で、岸田典大絵本パフォー
マンライブを開催する。音楽と絵本をミックスして楽しんでもら
くもので、図書館を考える会「すくすく」の主催となっている。

11月19日には、絵本とわらべうたのおはなし会を、市立図書館

3階視聴覚室で開催する。また、同日午後には、わらべうたと手あそびの講習会を開催する。講師はいずれも、元愛知県美和町図書館司書の山口陽子さんをお迎えして行う。

11月29日は、吉川図書館多目的室で、「絵本と音楽のライブ♪2014」と題したイベントを開催する。また、11月30日には、歴史講演会として、「吉川の戦国時代～三木合戦と吉川の武将たち」と題した講演会を行う。講師には、吉川歴史サークルの藤田均さんをお招きする。三木合戦については、大河ドラマの影響もあり、非常に関心が高まっているが、吉川は当時どのようなようであったのかという点をテーマにして、お話をさせていただく。

5 その他

(1) 次回定例教育委員会の開催日時について

委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成26年11月19日(水)、午後2時から開催することを決定した。

6 閉 会

委員長が、平成26年10月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。